

| 参照者 - 出来形 |

【参照者】出来形データ画面の説明（3D）

2023年5月29日更新

出来形データの画面について説明します。

［ファイル管理］の［連携］－［TREND-POINT］－［出来形ヒートマップ］に出来形ヒートマップファイル（拡張子「fph」）が登録されている現場で操作してください。

目次

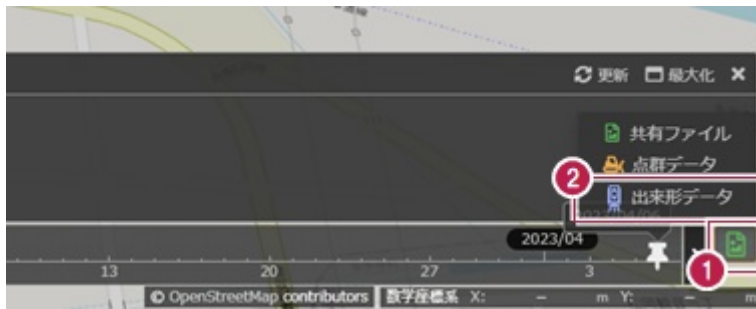
- ・ 出来形データを表示する
- ・ 出来形データ（検査）画面の説明

出来形データを表示する

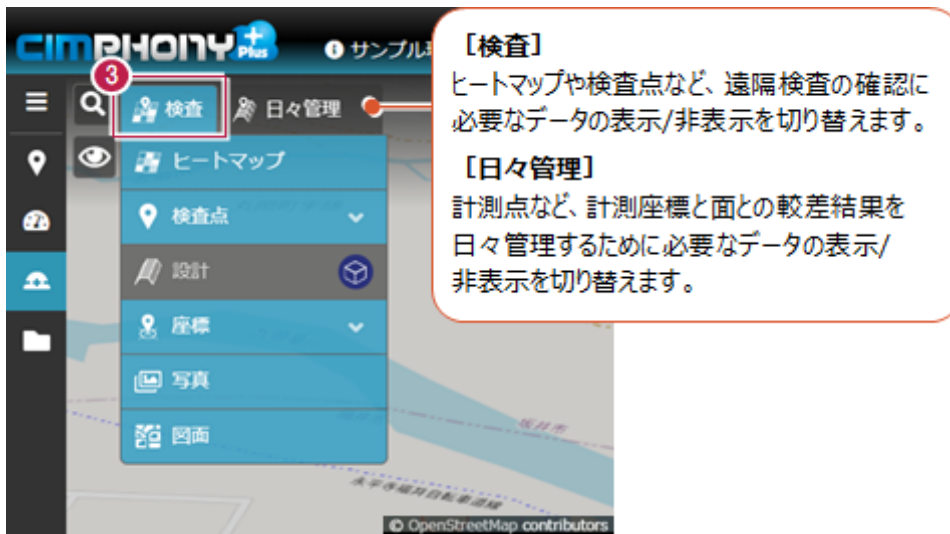
1. タイムライン右側のモード切り替えボタンをクリックします。

2. 〔出来形データ〕をクリックします。

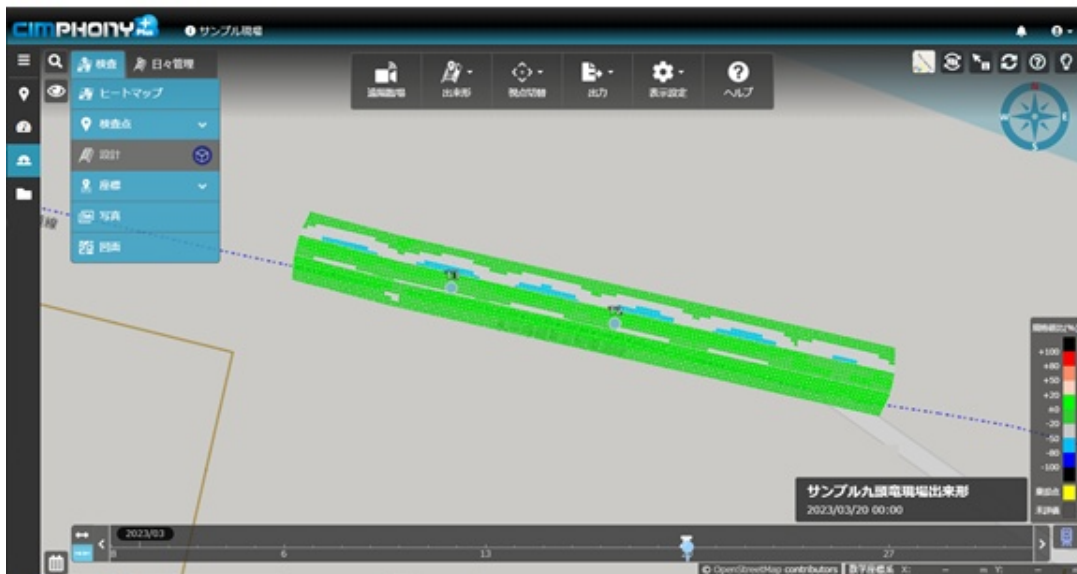
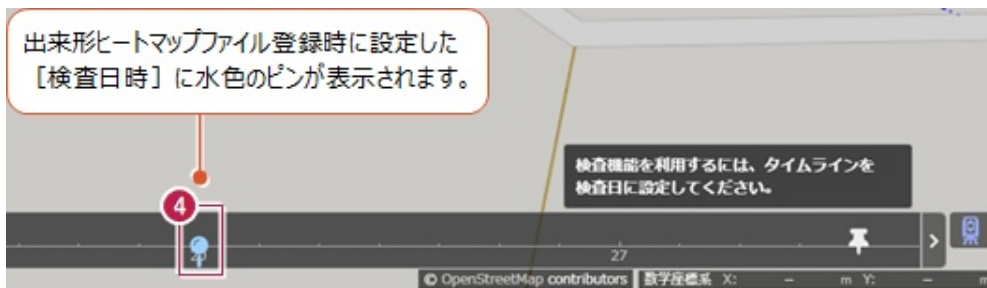
現場ビューア画面が出来形データ画面に切り替わります。



3.画面左上の「表示切替」で「検査」「日々管理」を切り替えます。
ここでは、「検査」を選択します。



4.タイムラインで水色のピンをクリックします。
出来形ヒートマップが表示されます。



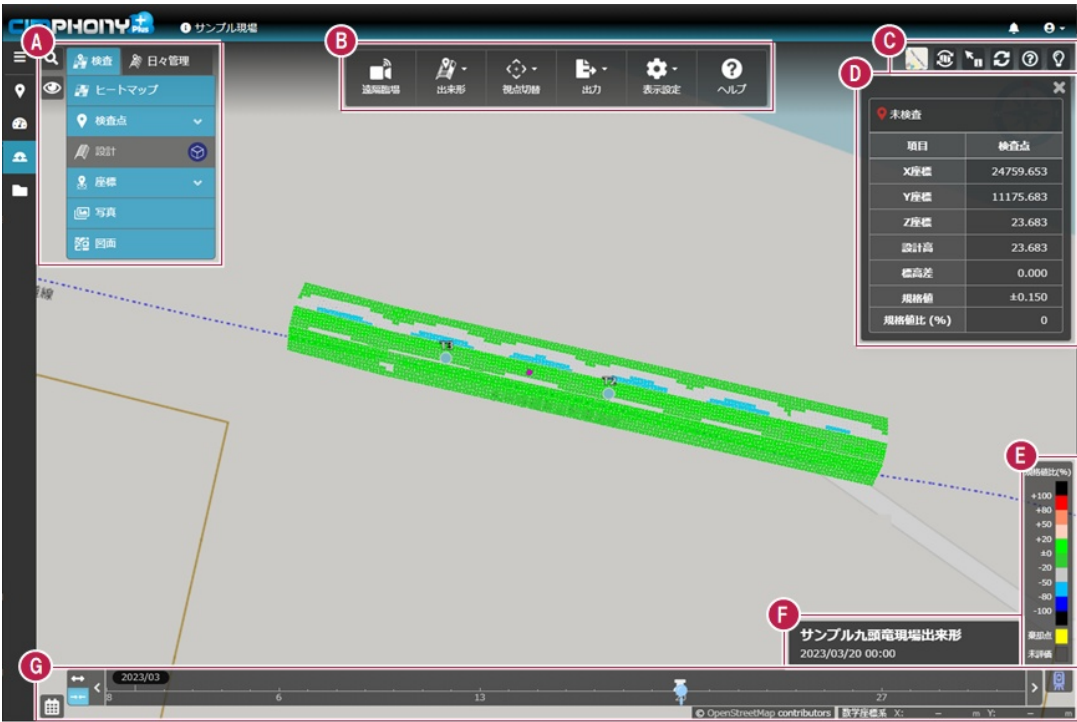
《3D補足》【日々管理】を選択した場合

【日々管理】では、FIELD-TERRACEから受信した計測座標を時系列で確認できます。

較差計算済みの計測日にはピンが表示され、計測結果を確認できます。



出来形データ（検査）画面の説明



A	検索	条件を指定して、該当する写真を現場ビューアに表示します。 ※出来形データ画面では、注釈・計測は表示されません。 ・【参照者】データを検索する
	表示切替	現場ビューア（出来形データ画面）に表示されている要素の表示/非表示を切り替えます。 ・【参照者】地図に表示するデータの表示/非表示を切り替える（3D）
B	遠隔臨場	CIMPHONY Plusと連携した機器に接続します。 ・【参照者】遠隔臨場を行う
	出来形	FIELD-TERRACEと遠隔によるヒートマップ検査状況を確認します。 計測座標と面との較差結果を日々管理することもできます。 ・【参照者】検査情報を確認する（3D）

		・ 【参照者】遠隔検査を確認する（3D） ・ 【参照者】検査結果を確認する（3D） ・ 【参照者】計測点を確認する（3D） ・ 【参照者】計測結果を確認する（3D）
	視点切替	視点位置を指定した方向へ移動します。 ・ 【参照者】視点を切り替える
	出力	現在の視点位置からの画像をキャプチャします。 ・ 【参照者】現場ビューアの画像を出力する
	表示設定	検査点・標定点サイズなどを変更します。 ・ 【参照者】検査点の表示設定を行う（3D） ・ 【参照者】図面の表示設定を行う
	ヘルプ	現場ビューア（出来形データ画面）の各コマンドの概要を表示します。
③	地図の切り替え 	背景の地図の種類を選択します。 ・ 地図を切り替える
	背景の表示/非表示 	現場ビューアの背景に表示される地図の表示/非表示を切り替えます。
	ファイル情報表示/非表示  ※タブレット端末では表示されません。	表示  設計、図面の上にマウスを移動した時に、マウスポインター右下にファイル情報（ファイ種別、ファイル名、登録・測量日時・登録者）を表示します。 非表示  ファイル情報を表示しません。
	更新 	現場ビューアを最新の状態に更新します。
	操作ヘルプ 	画面操作の方法を表示します。
	画面の説明 	画面の説明を表示します。
④	プロパティ	現場ビューアのヒートマップをクリックすると表示されます。

		検査点の座標値や標高差、規格値比（%）などの情報を確認できます。
E	カラーバー	ヒートマップに対応したカラーバーが表示されます。 ヒートマップがない場合、カラーバーは非表示になります。
F	検査データダイアログ	現場ビューアに表示されている出来形ヒートマップのファイル名、検査日時が表示されます。 検査日に検査データが複数ある場合、現場ビューアに表示する検査データをリストから選択できます。
G	カレンダーから選択 	カレンダーから日付を選択します。 ・ 【参照者】タイムライン-日付選択
	タイムライン 	登録データを時系列順に確認できます。 日付を選択すると、登録データが現場ビューアに表示されます。 ・ 【参照者】タイムライン-日付選択 ・ 【参照者】タイムライン-表示期間の切り替え
	モード切り替え 	現場ビューアのモードを切り替えます。  ：共有ファイル  ：点群データ  ：出来形データ ・ 【参照者】現場ビューア画面の説明
	座標情報	座標系とマウス位置の座標値が表示されます。  ・ 座標値が「-9999999.999」～「+9999999.999」の範囲外の場合、座標値は表示されません。 ・ タブレット端末の場合、最後にタップした位置の座標値が表示されます。

《3D補足》（タイトル）

端部ではない未評価箇所を選択した場合、プロパティの[Z座標]は[未評価]

になり、[標高差] と [規格値比 (%)] は [計算不可] になります。



端部の未評価箇所を選択した場合、プロパティの [Z座標] は [未評価] 、 [規格値] は [—] になり、[標高差] と [規格値比 (%)] は [計算不可] になります。



※ TREND-POINTで評価控除した箇所は、CIMPHONY Plusでは未評価箇所として扱われます。

| 参照者 - 出来形 |

【参照者】地図に表示するデータの表示/非表示を切り替える（3D）

2023年5月29日更新

現場ビューア（出来形データ画面）に表示されている要素の表示/非表示を切り替えます。

- 1.画面左上の「表示切替」で「検査」「日々管理」を選択します。
- 2.各要素ボタンをクリックして、オン・オフを切り替えます。



各要素ボタンが表示されない場合は、
「表示切替」をクリックして表示してください。

《3D補足》設計データの表示/非表示を切り替える

「[検査]」を選択している場合は、「[設計]」の右側のボタンをクリックすると、「[線（ワイヤー）のみ]」「[面+線（ワイヤー）]」「[面のみ]」の切り替えができます。

※出来形ヒートマップの検査日のみ表示されます。

「[日々管理]」を選択している場合は、設計データ（三角網、中心線形、測点名、横断線）ごとに表示/非表示の切り替えができます。

また、「[三角網]」の右側のボタンをクリックすると、「[面+線（ワイヤー）]」「[面のみ]」「[線（ワイヤー）のみ]」の切り替えができます。

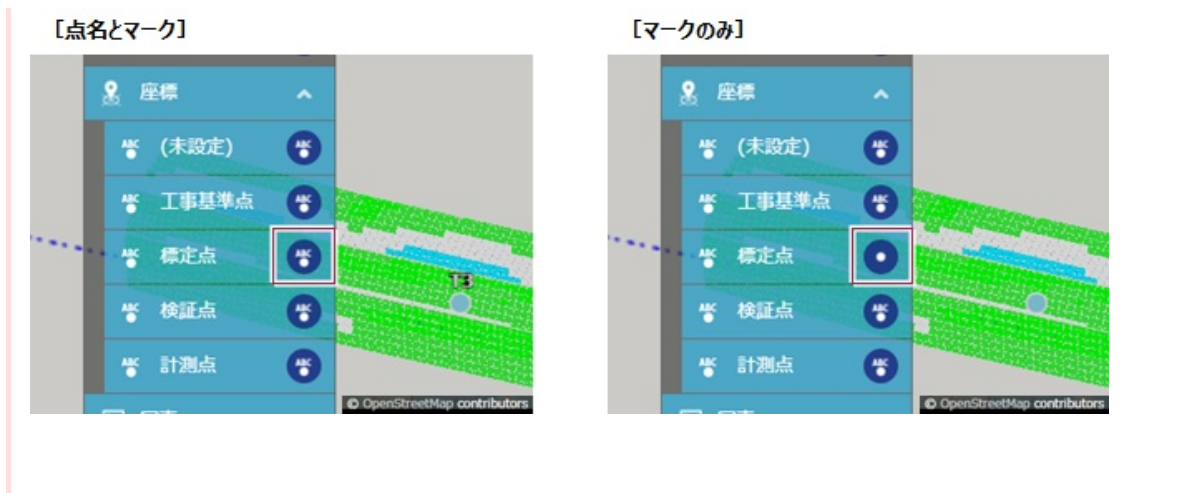


《3D補足》座標点の表示/非表示を切り替える

「[座標]」は座標種別（（未設定）、工事基準点、標定点、検証点、計測点）ごとに表示/非表示の切り替えができます。

※「[日々管理]」を選択している場合は、計測点の未計算、設計範囲外、計算済を切り替えることもできます。

また、座標種別の右側のボタンをクリックすると、「[点名とマーク]」「[マークのみ]」の切り替えができます。



《3D補足》写真のファイル情報を確認する

現場ビューアの写真をクリックすると、ファイル情報を確認できます。

ファイル情報の詳細は、「[【参照者】ファイルを確認する](#)」を参照してください。



《3D補足》図面の表示について

ファイル情報の「現場ビューア」が「表示する」になっている図面データが表示されます。

図面の座標情報が誤っている場合は、正しい位置に表示されません。

| 参照者 - 出来形 |

【参照者】検査情報を確認する（3D）

2023年5月29日更新

遠隔検査を行うための基本情報や実施者を確認します。

表示切替で「検査」を選択し、タイムラインで検査データが登録されている日付を選択後に操作してください。

1. 「出来形」をクリックします。

2. 「検査情報」をクリックします。

検査情報が表示されます。



3. [x] をクリックしてコマンドを終了します。

検査情報

基本情報

検査名

サンプル九頭竜現場出来形

主催者

福井 太郎

検査日時

2020/12/10 15:06

備考

検査データ

ファイル名

サンプル九頭竜現場出来形.fph

フォルダー名

連携/TREND-POINT/出来形ヒートマップ

実施者

氏名

会社名

福井 太郎

福井コンピュータ株式会社

福井 次郎

福井コンピュータ株式会社

| 参照者 - 出来形 |

【参照者】遠隔検査を確認する（3D）

2023年5月29日更新

FIELD-TERRACEとの双方向通信でのヒートマップ検査状況を確認します。

※参照者は検査点の追加などはできません。

表示切替で「検査」を選択し、タイムラインで検査データが登録されている日付を選択後に操作してください。

1. 「出来形」をクリックします。

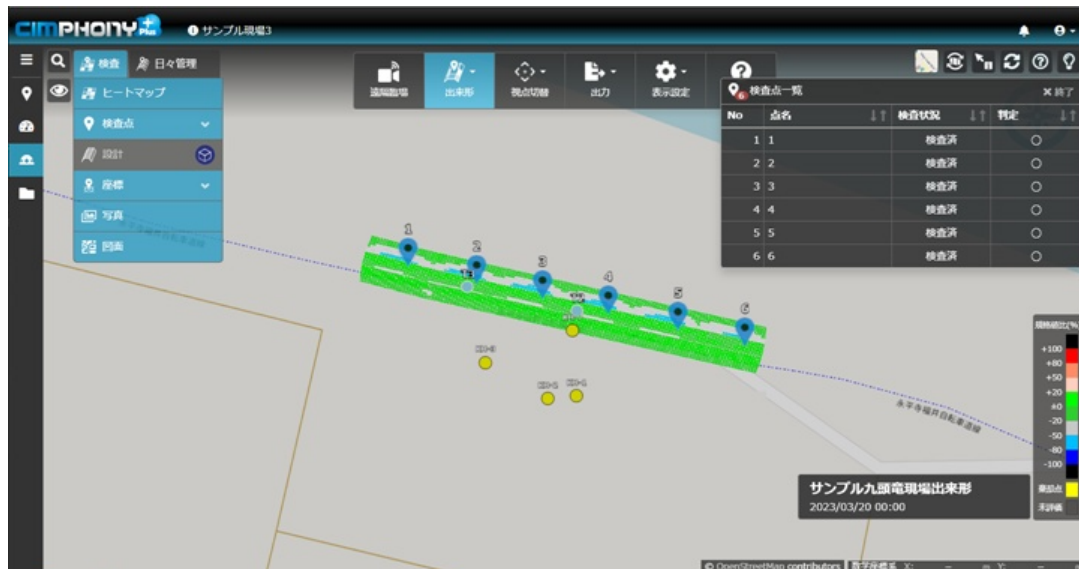
2. 「遠隔検査」をクリックします。



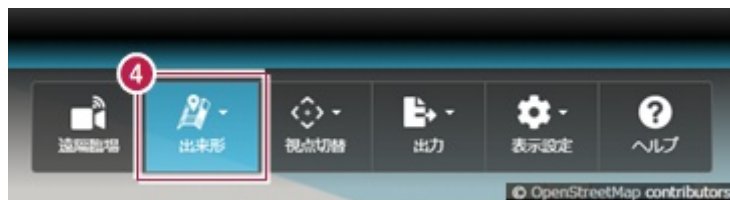
3. 「検査開始」をクリックします。

検査状況を確認します。

※検査状況の変更に応じて、画面が自動更新されます。



4. [出来形] をクリックしてコマンドを終了します。



※ [終了] をクリックしてコマンドを終了することもできます。

📍 検査点一覧

✕ 終了

No	点名	検査状況	判定
1	1	検査済	○
2	2	検査済	○

| 参照者 - 出来形 |

【参照者】 検査結果を確認する（3D）

2023年5月29日更新

検査結果を確認します。

表示切替で「検査」を選択し、タイムラインで遠隔検査を行った日付を選択後に操作してください。

1. 「出来形」をクリックします。

2. 「検査結果一覧」をクリックします。

検査済みの点が一覧表示されます。





3. [出来形] をクリックしてコマンドを終了します。



※ [終了] をクリックしてコマンドを終了することもできます。

						× 終了
座標	設計面標高	標高較差	規格値	規格値比 (%)	判定	
23.675	23.667	0.008	±0.150	5	○	
23.673	23.673	0.000	±0.150	0	○	

| 参照者 - 出来形 |

【参照者】計測点を確認する（3D）

2023年5月29日更新

計測点を確認します。

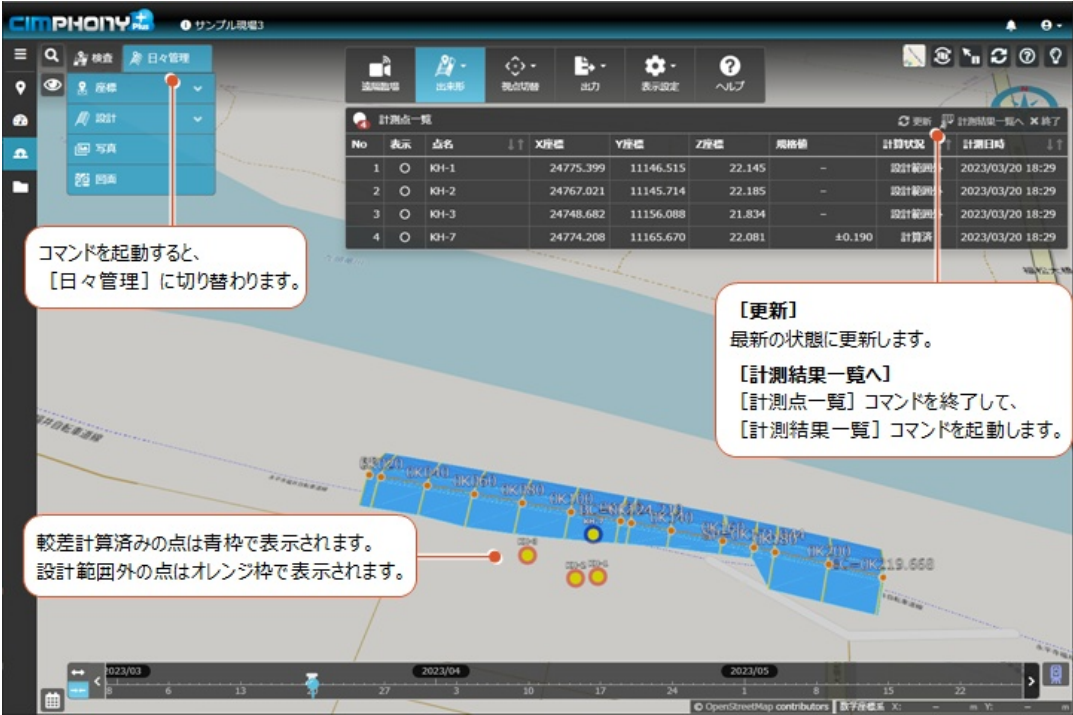
計測点が登録されているデータで操作してください。

1. [出来形] をクリックします。

2. [計測点一覧] をクリックします。

取得した計測点が一覧表示されます。





3. 「出来形」 をクリックしてコマンドを終了します。



※ 「終了」 をクリックしてコマンドを終了することもできます。

		更新		計測結果一覧へ	× 終了
Y座標	Z座標	規格値	計算状況	計測日時	
399	11146.515	22.145	-	設計範囲外	2023/03/20 18:29
021	11145.714	22.185	-	設計範囲外	2023/03/20 18:29

| 参照者 - 出来形 |

【参照者】計測結果を確認する（3D）

2023年5月29日更新

計測結果を確認します。

「較差計算」を実行後のデータで操作してください。

1. 「出来形」をクリックします。

2. 「計測結果一覧」をクリックします。

計測結果が一覧表示されます。



【更新】
最新の状態に更新します。

【計測点一覧へ】
【計測結果一覧】コマンドを終了して、【計測点一覧】コマンドを起動します。

コマンドを起動すると、
「日々管理」に切り替わります。

【表示】の【○】をクリックすると、
表示/非表示の切り替えができます。

タイムラインで計測日（水色のピン）をクリックすると、
現場ビューに選択した日付の計測点のみ表示されます。

【座標SIMA出力】
チェックをオンにした計測日の検査結果を
測量座標系で座標SIMAファイルに出力します。
【コピー】
チェックをオンにした計測日の検査結果を
現場情報の座標系でクリップボードにコピーします。

日々管理

座標

設計

写真

図面

計測結果一覧

更新

計測点一覧へ

終了

計測日	表示	No	点名	X座標	Y座標	Z座標	設計面標高	標高較差	規格値	規格値比 (%)	判定	
2023/03/20	○	1	KH-1	24775.399	11146.515	22.145	-	-	-	-	計算不可	不可
		2	KH-2	24767.021	11145.714	22.185	-	-	-	-	計算不可	不可
		3	KH-3	24748.682	11156.088	21.834	-	-	-	-	計算不可	不可
		4	KH-7	24774.208	11165.670	22.081	21.947	0.134	±0.190	71	○	

全表示 一括表示 一括非表示

3Dビュー

2023/03

2023/04

2023/05

3. 「出来形」 をクリックしてコマンドを終了します。



※ 「終了」 をクリックしてコマンドを終了することもできます。

更新 計測点一覧 終了						
座標	設計面標高	標高較差	規格値	規格値比 (%)	判定	
22.145	-	-	-	計算不可	不可	
22.185	-	-	-	計算不可	不可	

| 参照者 - 出来形 |

【参照者】検査点の表示設定を行う（3D）

2023年5月29日更新

検査点の文字サイズ、マークサイズを設定します。

1. [表示設定] をクリックします。
2. [検査設定] をクリックします。



3. [点名の文字サイズ] [マークサイズ] を設定します。
4. [確定] をクリックします。
現場ビューアの検査点に設定が反映されます。



【点名の文字サイズ】

点名の文字サイズを設定します。

ただし、大きいほどパフォーマンスは低下します。

【マークサイズ】

マークのサイズを設定します。

ただし、大きいほどパフォーマンスは低下します。

【拡大率による自動調整】

オンにすると、ビューの拡大率によって点名のサイズを自動調整します。

縮小したときはサイズが小さく、拡大したときはサイズが大きくなります。